



妙高市立妙高中学校  
学校だより 第 109 号  
令和 3 年 10 月 25 日  
携帯電話用 QR コード →



## 人が環境をつくる、環境が人を育てる

校長 宮川 高広

私たちは、暮らしを営んでいる場所の環境から様々な影響を受けています。例えば、妙高市では豊かな自然環境があり、冬場の大雪は、自然の厳しさとともに、ウィンタースポーツや観光、水資源としてたくさんの恩恵を受けています。よく「雪国の人々は、粘り強くて勤勉…」と言われ、このことから環境が人を育てることは理解できます。環境とは、こうした自然環境（もの）だけでなく、私たちを取り巻く人（ひと）・文化（こと）の総称をいいます。

環境が人を育てることは確かなことですが、ちょうど 20 年前、私が部活動の顧問をしていた際に「人が環境をつくる、環境が人を育てる」ことを実感しました。志の高い生徒が複数おり、男女を問わず、その高い志に触発されて練習に励み、ほとんどの部員が県大会に出場するなどの予想をはるかに超える好成績を残しました。因みに、冬場の練習時間は 16:20～16:45 の短い時間でしたが、全員が集中して練習する環境の中、部員全員が育ったものと考えています。

「受験勉強は団体戦」という言葉を聞きます。一人一人進路は異なりますが、受験することは共通です。進路を実現するためには、強い意志をもって勉強する必要がありますが、ゲームや SNS などの誘惑がたくさんあるため、その誘惑に負けないためにも勉強を頑張ろうとする学級の雰囲気や家族のサポートが必要です。つまり、「人が環境をつくる、環境が人を育てる」環境づくりが必要です。

今月 30 日に行われる合唱発表会も同様です。心を合わせて歌を歌おうとする環境が、人を感動させる合唱となり、人の心を育てくれます。

「人が環境をつくる、環境が人を育てる」の言葉を胸に、受験勉強や合唱発表会、すべての学校生活を送ってほしいと思います。

<合唱練習写真>

### 11 月は人権教育・同和教育強調月間

妙高中では、11 月を人権教育・同和教育の強調月間として人権意識の向上やいじめや差別をなくすために、同和教育の公開授業をはじめ、生徒会では「一委員会一取組」を計画していますので、紹介します。

委員会名	取組の内容
執行委員会	一日一善運動
図書委員会	人権について知ろうキャンペーン（人権関係の本の紹介）
体育委員会	校内球技大会
保健委員会	やめよう差別の感染を（コロナ感染者に対する差別をなくす）
生活委員会	人権川柳づくり
放送委員会	ありがとうメッセージの募集、赤い羽根募金

